

# ネクスト通信

Vol. 9 5

発行日

令和6年6月10日

発行責任者

前田 潤悦

編集者

南澤 秀幸

小助川 輝

浅野 雄蔵

## ネクスト名木小クリーン作戦

季節も初夏を感じる気候に変わり、草木も勢い良く育つ季節になりました。ご存じの通り、ネクスト名木小は、広大な敷地があります。先日、おたすけ隊、手仕事科の利用者さん、職員が力を合わせてグラウンドの環境整備を行いました。落ち葉を掃いて駐車場を綺麗にしたり、校庭の刈り終えた草を集めて運んだり、また花壇の植え替えも行い、校庭に彩を添えました。



落ち葉集めを行うグループは、竹ぼうきや手箕を使用して駐車場の隅に積もった落ち葉を回収しました。帚チームは上手に帚を使用して一カ所に落ち葉を集めていきます。黙々と集中した様子で落ち葉を集めている様子でした。鵜澤美咲さんは手箕を使用して集めた落ち葉を回収していきます。帚係と息を合わせて見事なチームワークで落ち葉あつめを行ってくれました。



暑くなってくる雑草もあっという間に成長します。定期的に草刈りを行ってグラウンドを綺麗に保っています。矢萩尚輝さんや宮崎隼さんは、職員が草刈りで刈り取った雑草を集めてくれました。軍手を着

用して次々と雑草を運んでくれています。手を止めることなく一生懸命に行ってくれています。



寺本智弥さんは集めた雑草を一輪車に載せて、「ゴミ捨て場へと運んでくれています。器用に一輪車を操作して、載せた雑草を落とさないように慎重に運んでくれました。



花壇の花植えはおたすけ隊の利用者さんが中心となって行ってくれました。花壇の雑草を手で抜いて綺麗にしてくれています。新しく植えるお花は傷を付けないように優しく丁寧に植えてくれました。



作業中はしっかりと水分補給をしながら作業を進め、ゆっくり休んでからまた作業を再開し、毎日コツコツと約2週間をかけて綺麗にしました。一仕事終えた後に飲むお茶はとても美味しいですね。



利用者さんも毎日少しずつ綺麗になっていくネクスト名木小を見て「綺麗になって嬉しい!」と実感されていました。自分たちで植えた花も「かわいいお花、枯れないようにお水をあげなきゃ」と水やりのことを心配されていました。

これからも、利用者さんが毎日通うのが楽しみになるような、美しいネクスト名木小となるように定期的にみんなで力を合わせて環境整備を行っていきます。(浅野)

## 6月の制作活動

6月に入り、梅雨の時期が近づいてきました。かえるや紫陽花など雨の季節にちなんだ制作物をみんなで作りました。各作業科、アイディア満載の素敵な作品を制作して過ごしました。

おたすけ隊では、「雨の日」をテーマに2点の作品を制作しています。1つ目の作品は、中央の窓から覗いているカエルやその周りにいるカエルがなんとも可愛く、その周りを囲む傘や紫陽花、雨粒、こぼれる坊主を折り紙で作りました。カエルのイラストを描いてくれたのは藤原聡さん。ピジョンと雨の中を元気に飛びまわるかえるの姿をイメージしてイラストを描いてくれました。職員が「かえるさんかわいいね」と声をかけると、色鉛筆で色を塗りながら「かえるさん描へのをがんばったよ」と嬉しそうに話をしてくれました。



もう1つの作品は、丸くした色紙を沢山作り、それを合わせて虹にしてみました。丸めた色画用紙を虹のように配置していくのは頭を使います。篠塚陽太さんは虹のアーチができるように計算をして一つ一つ丁寧に張り付けてくれました。出来上がった作品は、虹の下のカタツムリがとても可愛く、あやめやチューリップを折り紙で作る坊主をかわいらしい紙で作り、とても立体的な作品になりました。いずれの作品も利用者さんの個性やセンスの溢れるとても可愛い作品ができました。



手仕事科では、こぼれる坊主と紫陽花の花をメインに掲示物の制作を行いました。久保木加奈さんは雨が止みますようにと思いを込めてかわいらしいこぼれる坊主を作っていました。皆さん個性的なこぼれる坊主を制作して雨の季節らしい作品を完成させました。



(小助川)

## 6月の予定

14日 (金) 名木小パン販売  
古紙回収西地区

22日 (土) 作業参観日

28日 (金) 名木小パン販売

## 7月の予定

5日 (金) 古紙回収鎌部地区

12日 (金) 名木小パン販売

15日 (月) 開所日

育成会環境整備

26日 (金) 名木小パン販売

## 編集後記

気がつけば、半袖で過ごす事も多くなり、初夏を感じるようになりました。グラウンドの雑草も伸びるのが早くなり、先日行った環境整備では刈り取った雑草であったという間に大きな山ができるほどでした。環境整備後のグラウンドは綺麗に整っていて、スポーッククラブなどで身体を動かすのに気持ちよく活動を行なうことができそうです。日々多くの見学者など、人の出入りも多いことから、来ていただいた方々をおもてなしできるような環境を常に維持しなくてはと思いました。これからも利用者さんと協力をしながら定期的に環境を整えて心地よく活動を行うことができます。ネクスト名木小を目指していきます。

(小助川)

